

事業区間の概要

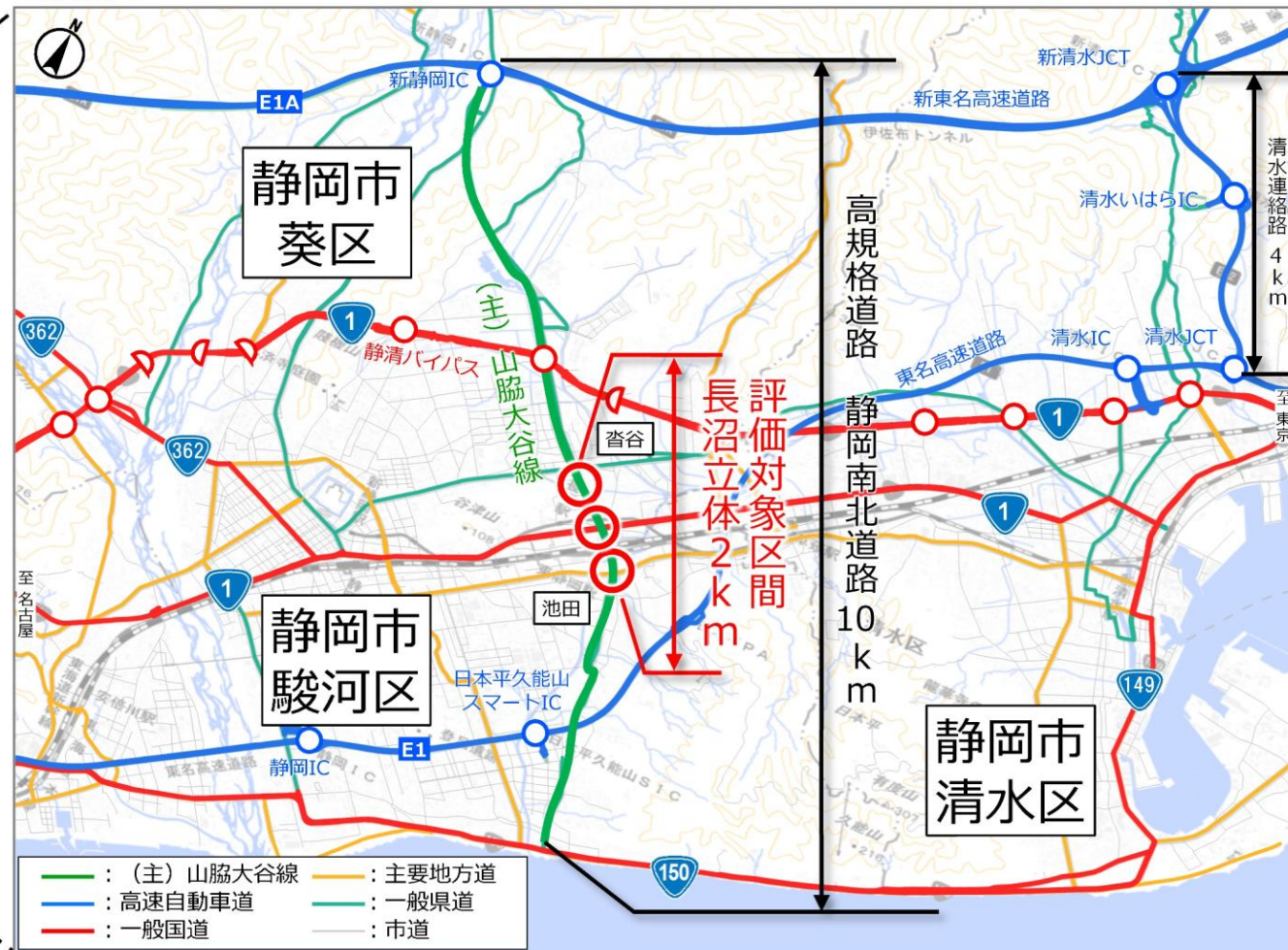
■ 高規格道路 静岡南北道路は、新東名高速道路新静岡ICから国道150号に至る延長約10kmの道路。

■ 計画段階評価区間は、^{しずおか あおい かつのや}静岡市葵区沓谷^{するが いけだ}～同市駿河区池田を結ぶ延長約2kmの区間。

■ 広域図



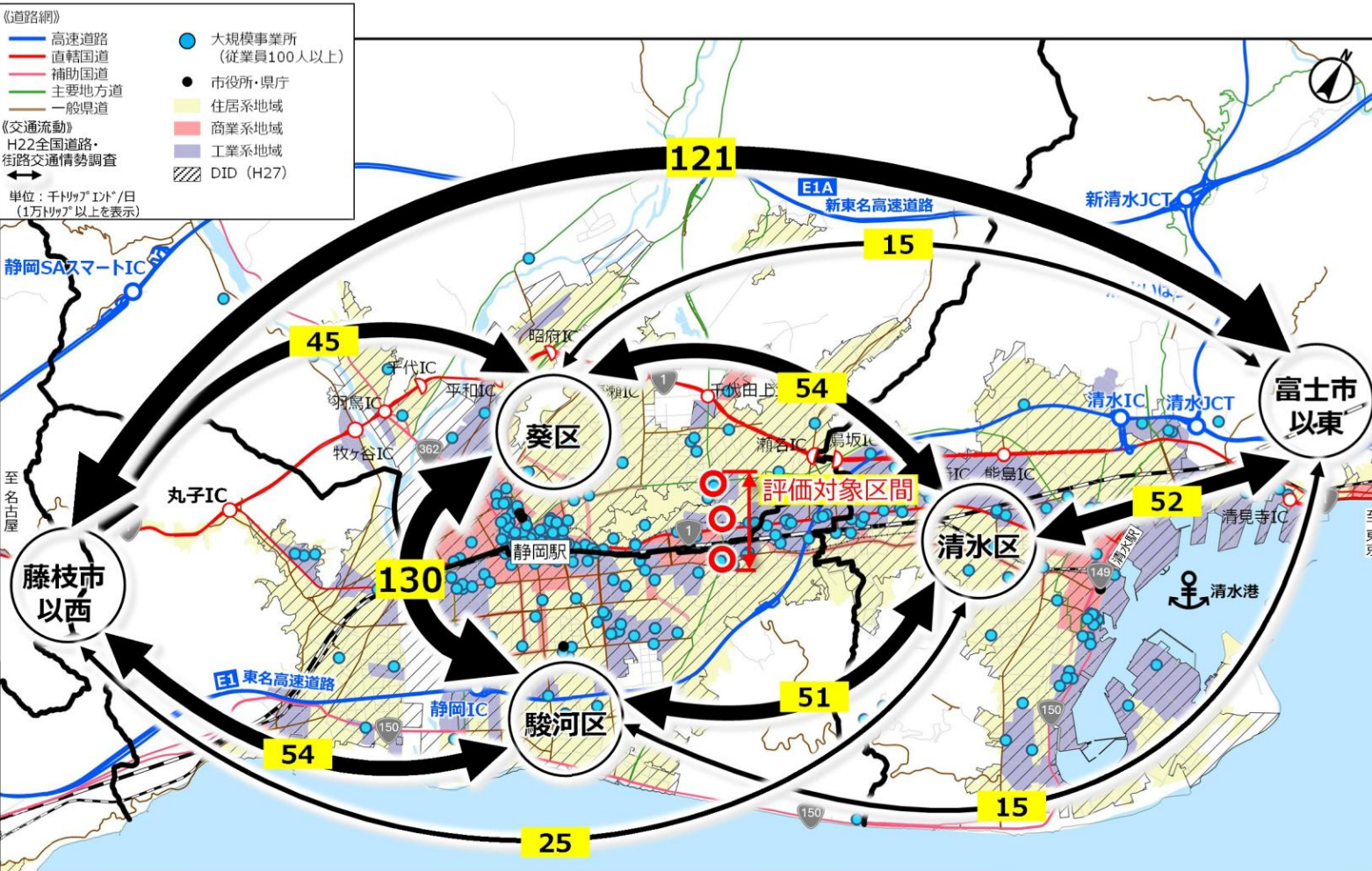
■ 詳細図



地域の状況 ①人口・交通流動

- 評価対象区間周辺地域は、静岡駅や大規模事業所・商業施設が多数存在し、交通の発集地域。
- 交通流動では、東西の流動に加え、葵区⇔駿河区の南北の流動が多い。
- 静岡市の人口は、静岡県と同等の減少割合（約4%）となっているが、駿河区においては増加。
- 静岡市は、第3次産業の割合が多く、第2次産業の総生産額も県内1位であり、第2次・第3次産業共に盛んな地域。

■ 静岡都市圏の発着OD

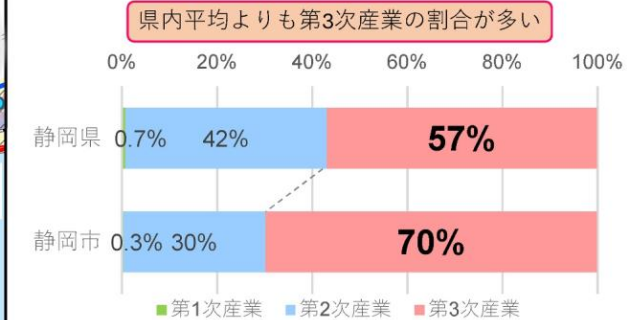


■ 人口の変化

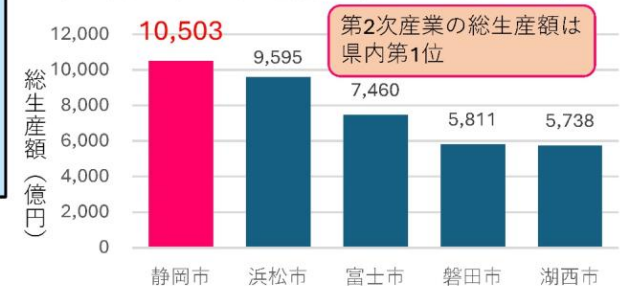
	H17	R2	増減率
静岡市	723千人	693千人	-30千人 (-4.0%)
葵区	263千人	249千人	-14千人 (-5.3%)
駿河区	208千人	213千人	+5千人 (+2.4%)
清水区	253千人	231千人	-22千人 (-8.7%)
静岡県	3,792千人	3,633千人	-159千人 (-4.2%)

※表中の数字は、それぞれ四捨五入をしているため合計とは一致しない場合がある
出典：国勢調査

■ 産業構造（市町村内総生産額）



■ 第2次産業：市町村別総生産額ランキング



出典：国土数値情報 H23都市地域、H23用途地域、静岡県会社要覧2015 H27人口集中地区

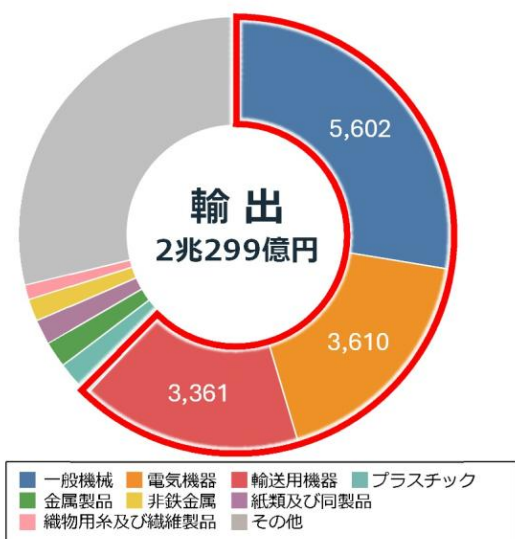
地域の状況 ②地域の産業:清水港

- 清水港の貿易輸出入額は全国で第8位。清水港の輸出品目としては、一般機械、電気機器、輸送用機器が多い。
- 清水港を発着地とする大型車流動のうち、静岡市が半数を占め、清水港との結びつきが強い。

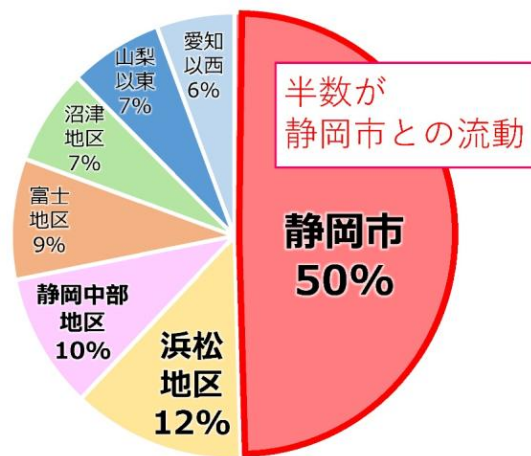
■ 港湾別貿易輸出入額



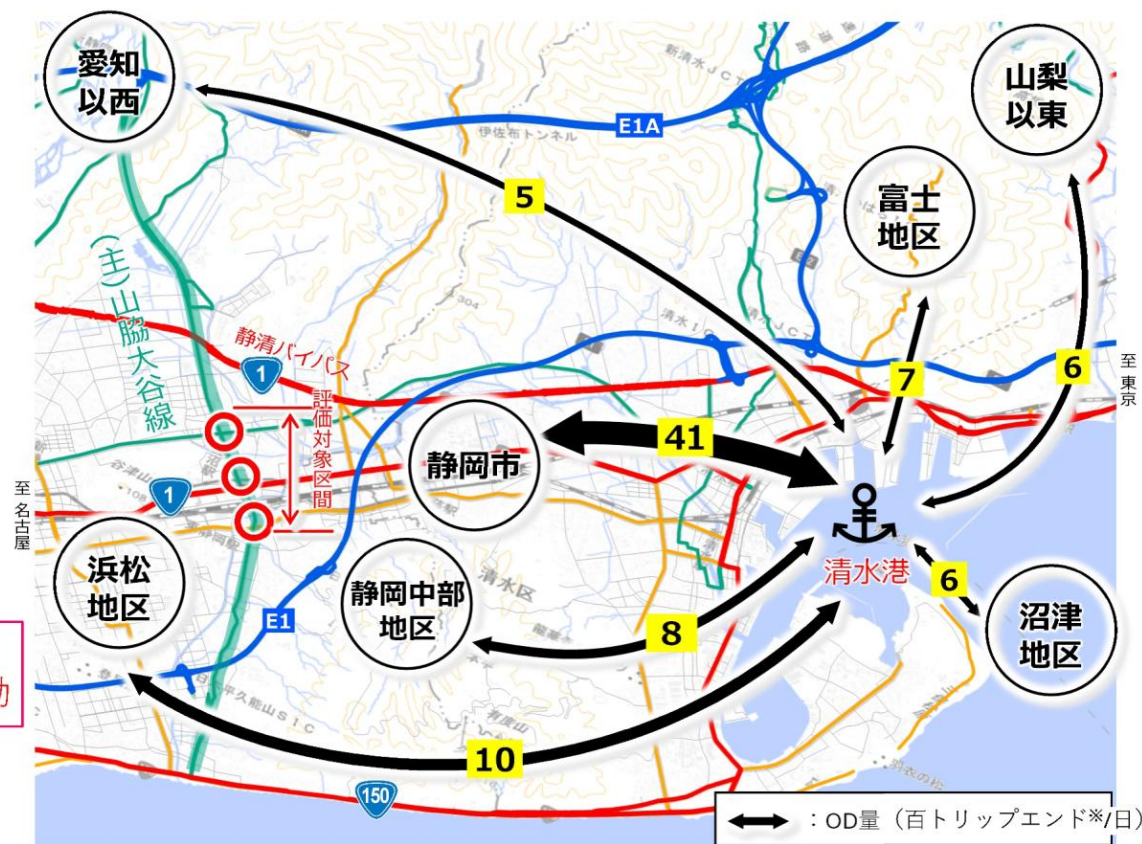
■ 清水港の品別輸出入貿易額



■ 清水港を発着地とする大型車流動内訳



■ 清水港を発着地とする大型車流動



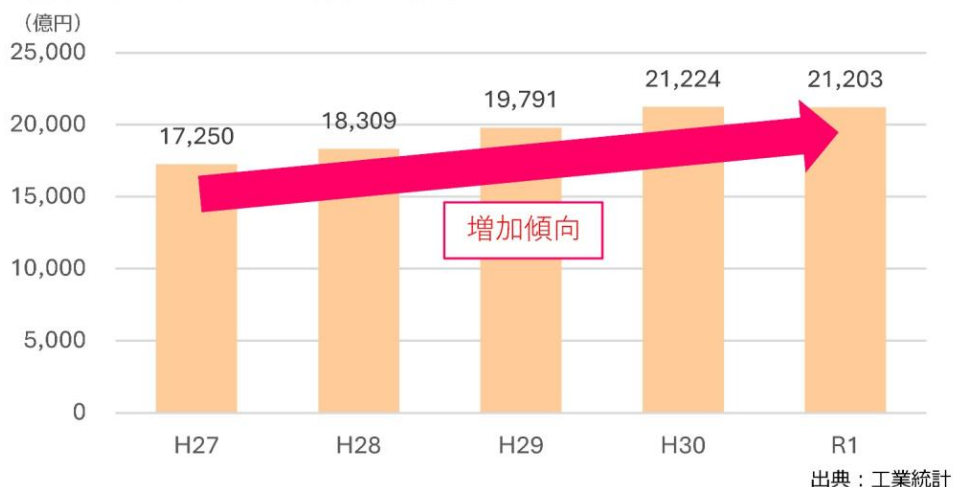
※トリップエンド：ある出発地からある目的地までの移動をトリップという。
そのトリップを合計したものをトリップエンドという。

※静岡中部地区：藤枝市、焼津市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町
富士地区：富士市、富士宮市
浜松地区：浜松市、湖西市、磐田市、袋井市、森町、掛川市、菊川市、御前崎市
沼津地区：小山町、長泉町、裾野市、沼津市、函南町、熱海市、三島市、清水町、松崎町、河津町、伊東市、伊豆市、西伊豆町、東伊豆町、伊豆の国市、御殿場市、下田市、南伊豆町

地域の状況 ②地域の産業:電気機械器具

- 静岡市の製造品出荷額は増加傾向であり、電気機械器具が約5割を占める。
- 静岡市駿河区には、三菱電機の工場等が立地し、電気機械器具製造業が全国第1位。
- 電気機械器具製造品の輸送にかかる駿河区⇔駿河区外の発着交通が7割以上と、区外とのつながりが強い。

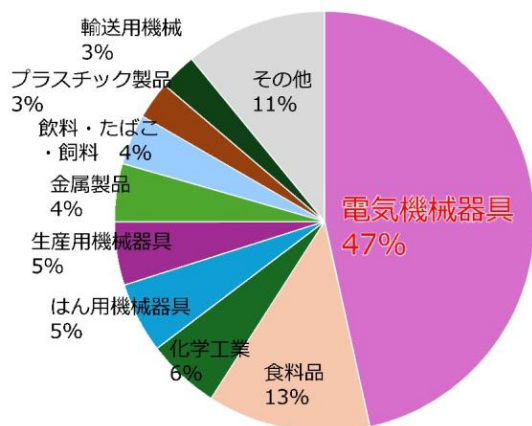
■ 静岡市の製造品出荷額の推移



■ 電気機械器具関係の主な企業立地状況



■ 静岡市の製造品出荷額の産業別割合



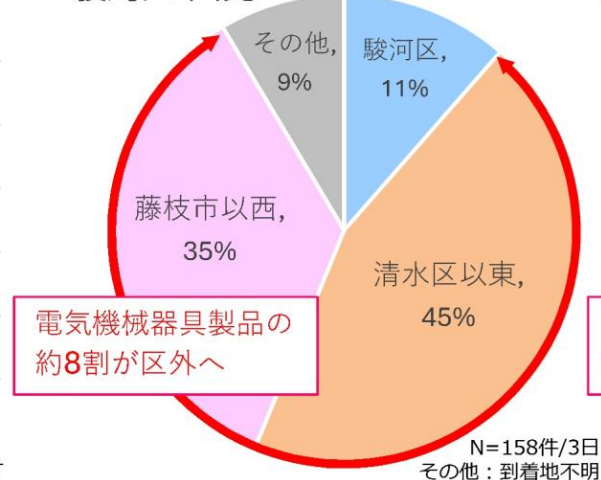
出典：R1工業統計

■ 電気機械器具製造業の製造品出荷額全国ランキング

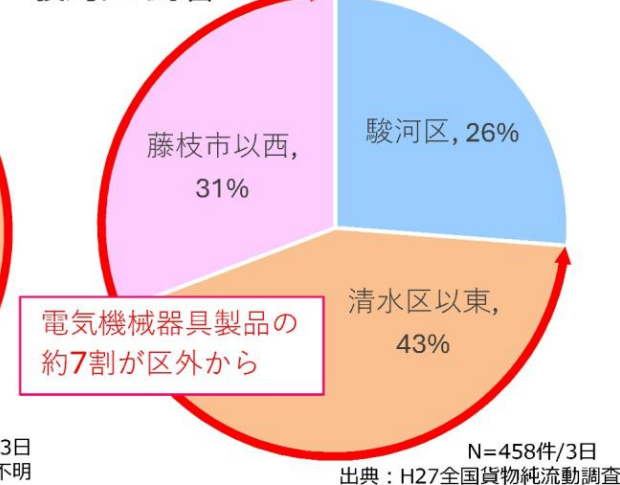


■ 駿河区を発着する電気機械器具製造品の物流輸送件数の割合（全国）

「駿河区 出発」



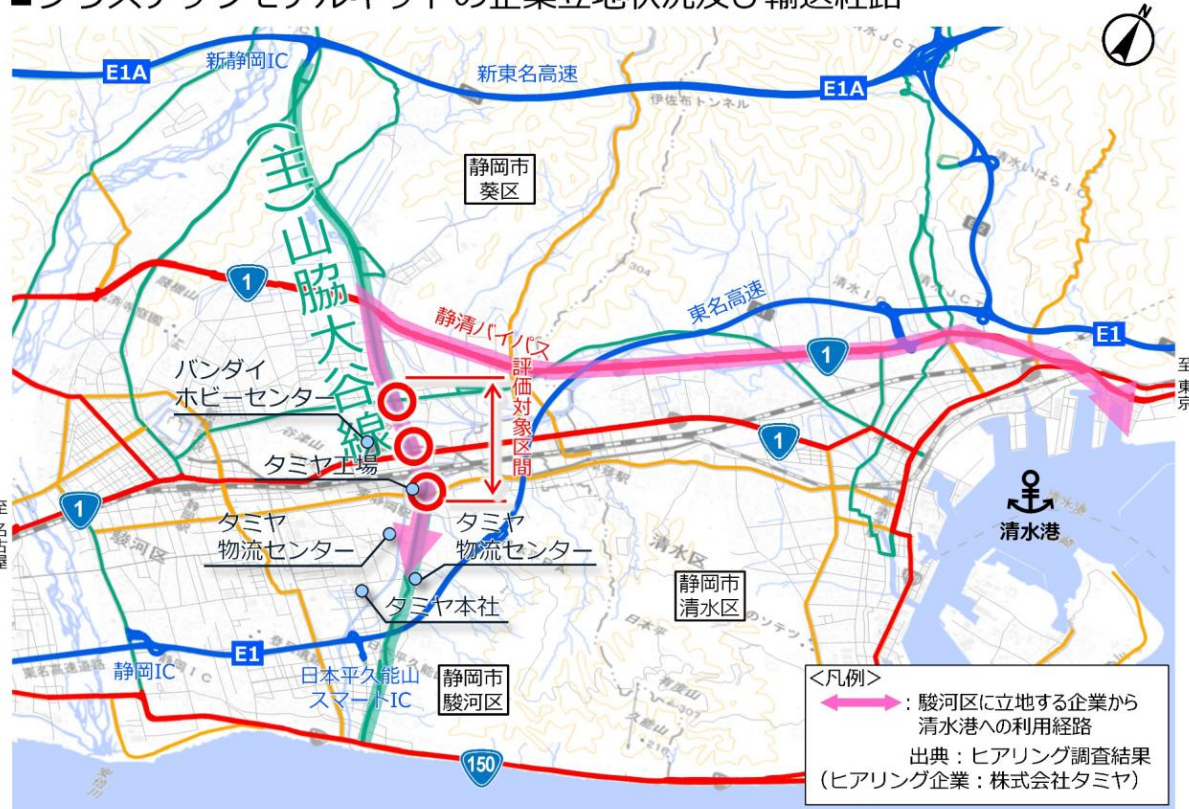
「駿河区 到着」



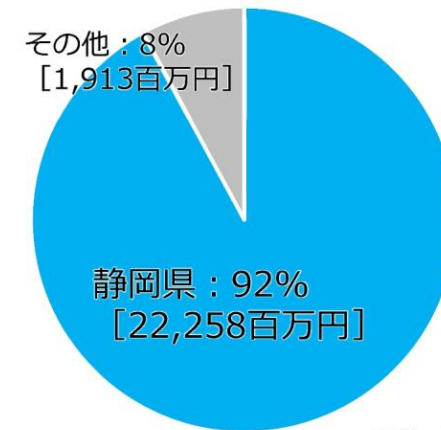
地域の状況 ②地域の産業:プラスチックモデルキット

- 静岡県のプラスチックモデルキットの出荷額は全国の約9割を占め、「バンダイ」や「タミヤ」のプラスチックモデルキット企業が（主）山脇大谷線沿線に立地。
- 清水港のプラスチックモデルキットの貿易輸出額はH24からR3で約4倍に増加し、清水港への輸送経路は、（主）山脇大谷線から国道1号静岡バイパスを利用。

■ プラスチックモデルキットの企業立地状況及び輸送経路



■ プラスチックモデルキット出荷額の全国シェア



出典：R1工業統計

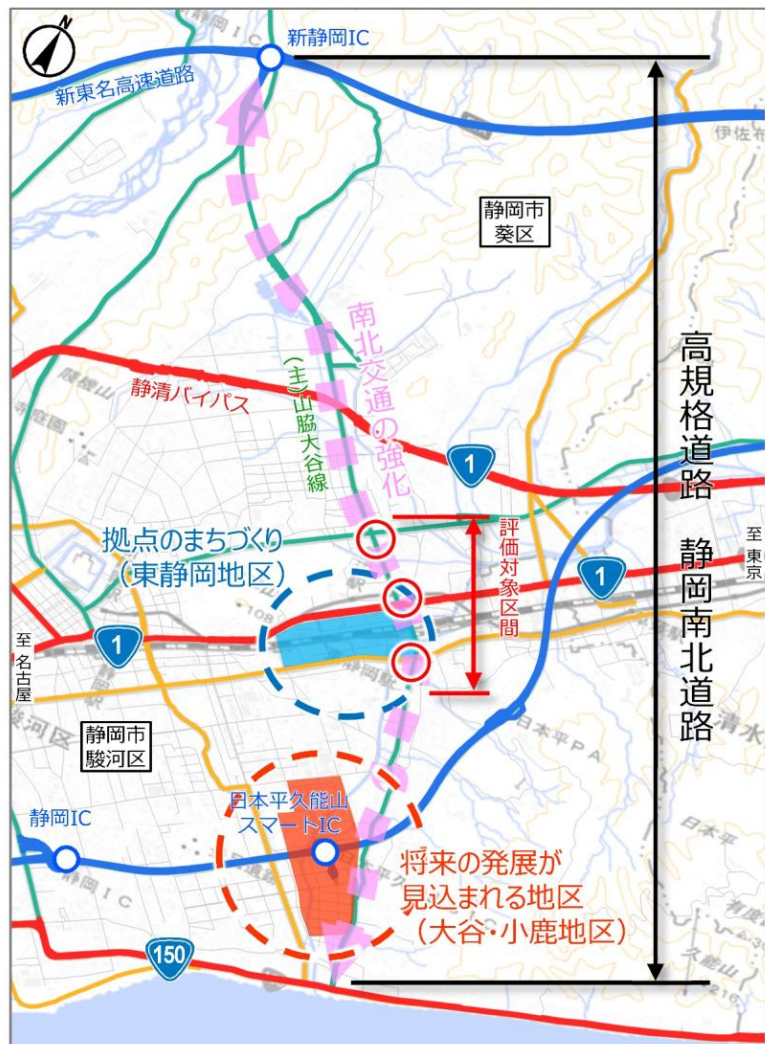
■ 清水港からのプラスチックモデルキットの貿易輸出額



地域の状況 ②地域の産業:周辺の開発状況

- (主) 山脇大谷線沿線では、文化・スポーツ拠点・新県立図書館等の施設整備や地域活動との連携を活用したまちづくりを進める「東静岡地区」と、観光・交流拠点等の創出による魅力の向上や、企業立地用地による経済活力の向上を目指した新たなまちづくりを進める「大谷・小鹿地区」でまちづくりを推進中。
- 両地区の経済活動を静岡市全域に波及させるために南北交通の強化が求められている。

■ 静岡南北道路沿線の開発計画



<拠点のまちづくり (東静岡地区)>



1	文化・スポーツ拠点の創出	「文化・スポーツの殿堂」として相応しい拠点の整備・運営を検討し、プロスポーツの観戦や、エンターテインメント性の高い芸術・文化に親しむ場などを創出することによって、まちの賑わいづくりと学びの機会づくりを進める。
2	新県立中央図書館の整備	県内図書館の中核として、市町立図書館を支援しつつ、未来につながる新しい図書館を整備することで、知のインフラとしての役割を継続すると共に静岡の新たな文化を創造・発信する。
3	文化・芸術の振興	世界に誇る「SPAC (静岡県舞台芸術センター)」の活動など、地域に根差した文化・芸術活動を展開することで、このエリアにしかできない、個性・特徴あるまちづくりを展開する。
4	地域活動との連携	地域活動と連携したイベント開催やまちづくりを推進することで、まちの賑い創出や関連産業の発展を図るとともに、「文化・スポーツの殿堂」としての東静岡を国内外にPRする。
5	南北交通の強化	新東名新静岡ICから東日本平久能山スマートICをつなぐ、静岡市南北を横断する道路環境を整えることで、地域の交通アクセスを向上させるとともに、経済活動をエリアの後背地にも波及させる。

<将来の発展が見込まれる地区 (大谷・小鹿地区)>



1	「静岡」をアピールするフロント機能の創出	スポーツ、食、魅せる工場などをテーマに、魅力ある交流エリアを創出することで、来訪者を「静岡のファン」にしていけるとともに、「静岡らしさ」を伝承・継承させる。
2	新たな産業集積による雇用創出	区画整理事業により生み出された企業立地用地を最大限に活かし、エリアの経済活力を向上させる。
3	新ICを活かした周辺観光交流の促進	日本平、久能山東照宮、三保松原など、多様な個性を持つ様々な観光資源と相互に連携する対流構造を生み出し、静岡市全域の活性化を図る。
4	静岡市南北を横断する道路環境の強化	新ICから静岡市の都心エリアにつながる交通環境を整えることで、地域の交通アクセスを向上させるとともに、経済活動を静岡市全域に波及させる。